

大阪労働局発表  
平成29年6月26日

【照会先】  
大阪労働局 職業安定部 職業安定課  
(代表電話) 06-4790-6300

報道関係者 各位

## ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組

### <平成29年度目標値及び事業計画（概要）の発表>

#### ～ハローワークの“業務の見える化”で

#### サービス向上を目指します～

大阪労働局（局長：苧谷 秀信）では、誰もが活躍できる良質な雇用機会を確保するため、平成27年度から全国のハローワークをポイント化して比較する「**ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組**」を実施し“**業務の見える化**”を図っております。平成29年度においても、上記取組を継続し、ハローワークのマッチング機能の更なる強化、サービスの向上に努めてまいります。

つきましては、平成29年度の大阪労働局の目標値及び年度の事業計画の概要を発表いたします。

大阪労働局・ハローワークでは、引き続き現下の情勢に対応した対策・取組を実施してまいります。

#### 1 「ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組」概要

全国のハローワークを11のグループに分け、目標に対する達成状況等によりポイント化を行い、グループ内での相対評価を実施し、その評価結果等を踏まえて、継続的な業務改善を行う取組です。これは、ハローワークが、マッチング業務の成果や評価結果、業務改善の状況等を利用者に分かりやすく公表することにより、透明性を高め、ハローワークに対する信頼性の向上を図ることを目的とするものです。

※別紙1をご覧ください。

#### 2 大阪労働局の目標値及び年度の事業計画の概要は、別紙2をご覧ください。

大阪府下16ハローワークの目標値及び年度の事業計画の概要は、大阪労働局ホームページに掲載予定です。

URL <http://osaka-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>

# ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 全体イメージ

全国のハローワークを労働市場の状況や規模によりグループ化（※平成29年度は、全国11グループ）

評価結果をもとに重点指導や好事例の全国展開等を実施

- ①問題状況の改善指導
- ②改善計画の作成
- ③好事例を全国展開（ハローワークによる交流会も開催）

業務改善等

## 各所ごとの目標値設定

<h3>主要指標</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職件数(常用)</li> <li>・求人充足数(常用)</li> <li>・雇用保険受給者の早期再就職件数</li> </ul>	<h3>所重点指標</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学卒ジョブサポーターの支援による 正社員就職件数</li> <li>・生活保護受給者等の就職件数</li> <li>・障害者の就職件数</li> <li>・正社員求人数・就職件数 など</li> </ul>
<h3>補助指標</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度調査(求人者・求職者) など</li> </ul>	<h3>所重点項目</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方自治体との連携の推進 など</li> </ul>

総合評価結果、実績値、業務改善項目等をまとめて公表

ポイント総計の算出

各指標・項目を目標達成率に応じてポイント化

各業務・取組を実施

## ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 大阪労働局 平成29年度目標値及び事業計画

	指標	目標値	事業概要
主要指標	①就職件数(常用※1)	110,000件	・求職者数が減少傾向にある中、就職に至る過程として十分な職業相談件数、紹介件数を確保する必要があり、求人・求職票の完全記入等、基本業務の徹底を土台に、予約制・担当者制を積極的に活用し、よりきめ細かな支援を実施して求職者支援の更なる強化を図る。
	②充足数(常用※1、受理地ベース)	121,000人	・良質求人の確保に努めるとともに、基本業務の徹底を土台に、求人者・求職者のニーズを的確に把握し、適合する求職者を探索するなど、求人部門と職業相談部門の連携による能動的・積極的マッチングを推進する。
	③雇用保険受給者の早期再就職件数(※2)	36,700件	・失業認定担当部門と職業紹介担当部門が連携し、職業紹介担当部門への誘導を行う対象者や頻度の基準、認定日における雇用保険受給者に対して職業相談等を行うための効果的な認定時間の設定等、職業紹介担当部門へ誘導を行うための取組を徹底する。
補助指標	①満足度(求人者)	90.0%	・ハローワークCS向上委員会等を活用し、ハローワークの利用者サービスの更なる向上を図る。
	②満足度(求職者)	90.0%	
	③求人に対する紹介率	27.2%	・求人申込受理時において、求人内容の明確性の向上を図るとともにより求職者ニーズに合った求人内容となるよう条件緩和指導等を行う。受理後の求人については、職業相談窓口等で積極的に情報提供し、職業紹介及びマッチングを推進する。
	④求職者に対する紹介率	19.8%	
所重点指標	①生活保護受給者等の就職件数	6,050件	・生活保護受給者等の生活困窮者に対する効果的な自立を促進するため、地方自治体等との緊密な連携の下、常設窓口の設置、巡回型相談の実施等による効果的な支援を推進する。
	②障害者の就職件数	7,024件	・障害者に対するきめ細かな就職支援及び法定雇用率の達成指導に向けた取組を強化する。
	③学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	14,837件	・学卒ジョブサポーター等による担当者制の個別支援や、未内定者・未就職卒業者に対する「正社員就職をあきらめさせない」継続的な支援、離学者に対する就職支援情報等の提供、就職後の定着支援等を推進する。
	④ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーター等の件数	18,773件	・フリーター等に対し、担当者制によるきめ細かな個別支援や予約制による職業相談・職業紹介等、一人ひとりのニーズに応じた就職支援を推進する。
	⑤公的職業訓練の修了3ヶ月後の就職件数	5,753件	・地域の人材ニーズに沿った訓練設定やきめ細かな就職支援により、安定した就職の実現に向けた支援を強化する。
	⑥マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	88.7%	・子育て女性等のライフステージに対応した就職実現プランを策定し、担当者制によるきめ細かな職業相談などの就職支援の充実を図る。
	⑦正社員求人数	430,044人	・求人開拓の重点を正社員求人及び多くの求職者が希望する求人に置き、正社員への就職を希望する求職者に対する就職支援サービスの充実強化と開拓求人の充足を図る。
	⑧正社員就職件数	57,446件	
	⑨介護・看護・保育分野の就職件数	14,500件	・介護・看護・保育・建設職種への就業を希望する求職者に対する就職支援サービス及び求人者に対する充足支援サービスを充実・強化する。
	⑩建設分野の就職件数	2,847件	
	⑪生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数	699件	・高齢者が安心して再就職支援を受けることができるよう、「生涯現役支援窓口」の機能拡充を行い、特に65歳以上の求職者への再就職支援を強化する。

※1：雇用契約において雇用期間の定めがないか、又は4ヶ月以上の雇用期間が定められているもの(季節労働者を除く)。

※2：雇用保険受給者が所定給付日数を3分の2以上残して就職し(待期間中や給付制限期間中の就職者、自己就職者等を含む)、雇用保険被保険者資格取得届が提出された件数。

○大阪府下16ハローワークの目標値及び事業概要は大阪労働局ホームページに掲載予定です。

URL <http://osaka-roudoukyoku.jstite.mhlw.go.jp/>